

## 新たな一歩に向けて!!

3年生は、いよいよ新たな世界へ踏み出そうとしています。1・2年生も一つ学年が上がり、皆さんへの期待も責任も大きくなります。この1カ月は、皆さんの将来にとって、重要な時間となります。

2月25日に閉幕した平昌オリンピックは、私たちに多くの感動と勇気を与えてくれました。ケガを克服し連覇を達成した羽生選手、友人の死を乗り越えるとともにそのスポーツマンシップが絶賛された絶対王者・小平選手、長期にわたる苦楽を共にしチームワークを磨き上げて組織力で金メダルを勝ち取ったスピードスケート女子パシュートチーム等々、皆さんの未来の模範となるものをたくさん実感することができたのではないのでしょうか。そして、多くの選手が、感謝の気持ちとあきらめない強い気持ちを持つことの大切さをインタビューで応えていました。

卒業する3年生の皆さんに、そして、それぞれ1ステージ、ステップアップする1・2年生の皆さんに、松下電器産業（現パナソニック）を一代で築き上げた松下幸之助さんの著書「道をひらく」の中から「道」という詩を紹介します。

### 「道」

自分には自分に与えられた道がある。天与の尊い道がある。  
どんな道かは知らないが、ほかの人には歩めない。  
自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがえのないこの道。  
広い時もある。せまい時もある。  
のぼりもあればくだりもある。  
坦々とした時もある。かきわけかきわけ汗する時もある。  
この道が果たしてよいのか悪いのか、思案にあまる時もある。  
なぐさめを求めたくなる時もある。  
しかし、所詮はこの道しかないのではないか。  
あきらめろと言うのではない。  
いま立っているこの道、いま歩んでいるこの道、  
ともかくもこの道を休まず歩むことである。  
自分だけしか歩めない大事な道ではないか。  
自分だけに与えられているかけがいのないこの道ではないか。  
他人の道に心をうばわれ、思案にくれて立ちすくんでいても、  
道はすこしもひらけない。道をひらくためには、まず歩まねばならぬ。  
心を定め、懸命に歩まねばならぬ。  
それがたとえ遠い道のように思えても、  
休まず歩む姿からは必ず新たな道がひらけてくる。  
深い喜びも生まれてくる。

松下幸之助「道をひらく」より

たった1度の人生、その人生をどう生きるか、それを決めるのはあなた自身です。

人は失敗を繰り返し、何度も何度もチャレンジすることでたくましく成長していきます。たった一度のあきらめが、自分の夢を、自分の人生を壊すことがあります。必ず一度は大きな挫折を味わうものですが、その時、自分を信じ、前向きに取り組んでいけば、いつか輝かしい未来が切り開かれていきます。 *Never Give Up*

## 卒業式の意義

卒業式まであと9日となりました。“儀式の意義”を踏まえ、正しい身だしなみ、厳粛で静かな雰囲気のもと、みんなに祝福され、大きく世界に羽ばたいてくれることを期待しています。また、3年生だけではなく、全校生徒で創る卒業式です。1・2年生も、自分の与えられた役割を責任持って果たし、また一つ成長して進級してくれることを期待しています。



これまでの先輩方を超える最高の卒業式となるよう、全員が心をひとつにし、みんなの心に残る素晴らしい第65回卒業式を創りあげましょう。

儀式（セレモニー）とは、「一定の形式、ルールに基づいて行われ、日常生活とは異なる特別な行為」「所属する特定の社会において、集団の結束を確認するためや、集団でのステップアップのために行われ、社会に周知させるためにも行われる」とあります。

卒業式は、中学校という一つの社会の中で、3年間一緒に取り組んできた仲間や先生、保護者や地域の方々と、これまでの取組と結束を改めて振り返り、新たな進路へのステップアップを共に祝う会だといえます。そこには、3年間の頑張りを評価するとともに、今後、責任ある役割を果たす存在へと脱皮していくことへの大きな期待も含まれています。

## 1年 百人一首大会

2月15日（木）5・6時間目、1年生は体育館において「百人一首大会」を実施しました。16グループにわかれて熱い戦いが繰り広げられました。国語科の授業の中で取り組んできた学習の成果を発揮し、一枚でも多くのカルタを取ろうと、一人ひとりが頑張っていました。読み手は、先生方が交代で務めました。上の句で札を取る生徒も多く、盛り上がる大会となりました。

クラス優勝は1組、男子個人戦は49枚の札を取った2組の高松大樹君、女子が個人戦は64枚の札を取った1組の野澤柚月さんが優勝しました。



個人の部	男子	女子
1位	高松 大樹（2組）49枚	野澤 柚月（1組）64枚
2位	松原 七海（3組）43枚	堀ノ内凜香（1組）49枚
3位	藤川 直志（2組）42枚	三好 栞（2組）46枚
4位	田中優太郎（1組）41枚	八島 凜（1組）42枚
5位	橋形 涼雅（1組）40枚	浅田 芹奈（1組）37枚



## 近畿中学校美術展・大阪市立中学校造形展

1月30日～2月12日、第58回近畿中学校美術展・第39回大阪市立中学校造形展が、鶴見区の「咲くやこの花館」で開催され、本校3年生の久保徹志君と横田美羽さんの作品が展示されました。

二人には、近畿中学校美術教育連盟から賞状が授与されました。

